

励まし支え合う仲間 (こだま会) とともに 楽しく豊かな 暮らしをめざそう



みんなで心をあわせて合奏 (尺八に秋中一允さん)

退職者

こだま会報

NO.47



「こだま会」は、創立15年を迎えました。
 「こだま会」とは、山のこだまのごとく、会員が呼べば、その要請にすぐ応えられるような会に。そして、その響きは限りなく拡がり、併せて質の高い会を目指すことを意味します。

いのちとくらしと人生を寄せあつて

「わたしたち高齢者のくらしや身の回りから安心と安生と安らぎが日ごとに目減りし、医療・介護・年金・福祉などの改悪は消費税や超低金利政策と相まって、生きにくさ暮らしにくさをつのらせています。こんな時世だからこそ手をつなごう！」

家に閉じこもってひとりりでくよくよ悩むより仲間と話しあい励ましあい支えあつて楽しく幸せな人生をつくりだしましょう！

こんな時世だからこそ町から村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくしましょう！

気軽に声をかけ気楽に足をはこびましょう。ひとりひとりの趣味や取柄を發揮しましょう。

これは昨年九月、広島市で開かれた第一三回日本高齢者大会のアップル文です。

お互いの趣味や取柄の發揮といえ十一月二八日、横浜市従会館貸切

りで開催された神奈川自治労連退職者会の「ふれあい手づくり文化祭」はそのことの実証だったと思います。展示出品物は、きり絵・絵画・写真・掛軸・水墨画・ローケツ染・置物・お花・編物・各種の手芸品など、多数の出品があり、それぞれが見事な出来ばえでした。

また、演芸プログラムも三味線合奏の「花笠音頭」ではじまり、「しあわせのワルツ」の全員合唱で幕を閉じるまで四十五の唄あり、踊りありで大変に盛りあがった一日でした。こだま会の中にも多様な趣味を持つていられる方も多々います。

ひとりひとりの趣味が生かされる第二の人生、それを支える退職者会の活動、「いのちとくらしと人生をたがいに寄せあい、平和と福祉と人権と緑ゆたかな二一世紀を！」この大会アップルの意味を再度かみしめ、会の活動に生かしていきたいです。
 (加藤利秋)

楽しい趣味の会

趣味の会は、長生きの散歩道
と一緒に歩きましょう!!

部会の申込みは、
葉書で事務局へ

観劇会 第3回

第三回観劇会は国立劇場十一月興
行の歌舞伎「本朝廿四孝」の鑑賞で
した。

当日、友人を誘い参加しました。
知人の「行体つまみ画」の個展を日
本橋の画廊で見た後、地下鉄永田町
で下車劇場へ。開演十分前に席に着
き、借りたイヤホンで全体のガイ
ドを聞きながら若い頃のことを考え
ました。私はオーバーな振りの歌舞
伎は苦手だったことを。しかしこだ
ま会や友人の誘いで何度か鑑賞する
うちに、舞台装置の華麗さ、衣装の
豪華さを活かす役者の演技力に、あ
る魅力を感じてきました。

物語は中国の「廿四孝」の一つ孝
行息子が雪の中、荷を掘るを戦国時
代の軍師の二人の息子にたとえ、勇
猛な兄は孝行でないのに年老いた親
は気に入り、優しく孝行息子の弟は
疎んじられる。弟役を上方歌舞伎の

中村雁治郎が演じ、次の幕では美し
い姫君に変身亡き許婚を慕う情々と
した所作に魅せられ、イヤホンの
解説を耳に堪能しました。(船橋雅子)

歴史教室

○歴史散歩

とき 平成十一年十一月一二日
ところ 三浦氏の衣笠城址周辺
参加者 一四名
解説 中村猪一郎氏

衣笠駅前一〇時集合、バスを使っ
て衣笠城址へ、平安時代には修験道
の地、三浦氏時代には山城として頂
上には露岩(神の依り代という)の物見
岩がある。そばの大善寺に詣り不動
明王像と阿弥陀三尊を拝す。きけば
三浦氏一族も熱心に阿弥陀を信仰し
たとか。平地に下り満昌寺を訪れる。
境内に頼朝手植えのつつじ(伝)裏山
に三浦大介の墓と称する宝きょう印
塔がある。「相模風土記」には五輪塔
とあるが、ここでは宝きょう印塔を
大介の墓と伝えている。

さらに清雲寺へ足をむける。本尊
の滝見観音は中国宋時代の仏像(唐
仏)といわれ岩座に腰をかけ半伽の
優しい姿は東慶寺の水月観音、来迎
寺の如意輪観音を連想させ人々の心
をうつ。そばの毘沙門天も三浦の地

から北に位置する鎌倉を意識した三
浦氏の気持を想像させる。寺の裏に
三浦氏三代(為通、為継、義継)の墓と三
浦党九三人の五輪塔がある。

清雲寺を辞して腹切り松に立寄る。
伝えでは大介が衣笠城から脱出して
この地で腹を切ったといわれている
が、あくまで伝えの域を出ない。大
矢部団地の住宅街を通りぬけて岩戸
団地へ。ここには佐原義連の開墓に
なる満願寺がある。寺は義連が平家
追討のため西国へ出陣する際、自ら
の像をつくらせたという地蔵像、そ
して観音像と不動明王像(何れも市重
文を祀る収蔵庫があり、拝観をさ
せて載く。三浦の地には珍しい義連
等身大といわれるだけあり堂々たる
ものである。傍らに義連の墓と称す
るものがあるが空・風・地の三輪は後
補らしい変形的な塔であるが、風土
記には高さ七尺とあり水輪・地輪は
昔のものである。寺を出てバス通り
に近く人家の敷地内に巴御前の墓と
伝える凝灰岩のくずれた層塔がある。
彼女は三浦へ来た記録もないので縁
者が建てたものと伝えている。

(中村猪一郎)

9 F 料理実習室
薬膳料理参加四回目!!
桜木町駅前

実習の前に上野先生から今日の食
材の食効、薬効について説明があり
ました。身体を暖め風邪を予防する
生姜、百合根、銀杏。肺を丈夫にす
る白きくらげ。のどの痛みや熱を取
る大根。腎を強め生命力を高める栗。
気力を増すアーモンド。老化を防止
する海老。肝や目に良い黄菊。その
他健康に大事な血の流れを良くする
紅花とどれも冬から身体を守るのに
必要な物ばかりです。

これらの効果は数千年前の歴史の
中で連綿と受け継がれてきたもので、
まさに食の貴重な伝統文化だと思
います。出来上った料理は味も良く又
見た目にも美しくお正月料理にもふ
さわしいものでした。
生薬が八種類も入った特製の長寿
層蘇散も頂いて二〇〇〇年も明るく
迎えられそうな気がしてきました。
私は四回目の参加でしたが、なぜ
か奥深い中国医学や薬膳に魅せられ
てしまっています。(伊藤美智子)

食文化を楽しむ会

とき 一二月二日(木)11時~15時
ところ 横浜市健康福祉センター

○ハープで肌によさしい石けんづくり
とき 十一月九日(火) 13時30分~
ところ 県職労四階会議室



右下 白い袋が石けんの素

楽しかったハーブ石けんづくり

退職して早や一年以上、あつという間に過ぎてゆきました。

今回、ハーブソープづくりに参加しました。大豆ぐらいの粒つぶの石けんの素にハーブの乾いたもの、ハーブの精油を粘りながら加えていきます。よい香りの漂う中で、子供心にかえり粘土細工をしているような楽しい作業。ハートや鳩の形の型抜きをして、すてきな作品が手軽に出来上がり感激しました。大変だったのは粘る作業でスリコギでつぶし手でこねる。お陰で両手は磨かれ艶つやと白くなって嬉しいこと!!

さっそく数人の方にプレゼント。自分でも洗面所に備えて顔や手を洗い、心地よい香りと優しい泡立ちに加えて、その後も色白く透明感も増した感じで気分スッキリ。美しい肌になれるかも? (福元久子)

予告!! 趣味の会

健康ウオークの会

去る11月1日は残念乍ら豪雨の為中止、ガツカリされた方が多かったと思います。それで再度実施いたします。これからは、必ず実施できるように工夫しましょう。

寅さんのふるさと、柴又帝釈天矢切りの渡し、荒川堤、水郷水元公園ウオーク

とき 三月中旬〜四月上旬

コース 横浜駅中央通路京浜急行改札口集合(9時)〜(京急)〜浅草(都営地下鉄)〜京成高砂〜柴又(京成)下車、柴又帝釈天〜矢切りの渡し公園(昼食)〜荒川堤〜水元公園〜京成金町駅〜横浜(16時)

詳しくは部会員にご連絡、参加希望者はハガキで事務局まで。

旅行の会

「貸切りバス」による定員割れの懸念のある中で、部会員の増加、乃至新企画による方策を検討中です。よい案がありましたら是非事務局までご提案を願います。

観劇会

春



今回は国立劇場三月新派公演をおたのしみいただくよう計画いたしました。おさそい合わせて多数の参加をお待ちしています。

日時 平成一二年三月一七日(金)正午開演

場所 国立大劇場 (〇三―三二六五―六七五二)

演出 「滝の白糸」新派古典の名作

出演者 水谷八重子、板東八十助、安井昌二、花柳武始 他

八重子のでやかな水芸がたのしみです。

会費 七、八〇〇円(二割引)

申し込みは二月一五日(火)までにこだま会事務局へ。

歴史教室

今年も昨年同様に中村猪一郎氏を講師に迎えて、講義と散策を各2回ずつ計画しています。

3月 散策 平家物語と鎌倉

6月 講義 「太平記」と鎌倉①

9月 講義 「太平記」と鎌倉②

11月 散策 「しおさいの道」浄楽寺から森戸神社などへ

日程、場所など詳しいことは、事務局へお問い合わせ下さい。(特に3月部会に入ると自動的に案内が送られます。)

1999 手づくり文化祭 賑やかに終る

自治労連神奈川退職者会恒例のお祭りが、11月28日(日)に横浜市従会館で開かれました。3Fではバザーや書・絵などの展示、4Fでは、歌、踊りなど盛り沢山に演じられました。ロビーでは、おでん弁当、みかん、ビールなど食欲を満す物が勢揃い。一方、横浜市福祉事務所のヘルパーのリストラ反対署名なども...

会員の出品では、亀井禎子さんの油絵、秋中一充さんの電気工作、加藤利秋夫人のPATCHワーク、鈴木志げ子さんの猫の人形が目を引きました。

語らいを楽しみ さわやかに歩く

志村富美子さん

9日、12日に開かれました。志村さんの参加したのは10日のウォークラリー大会

志村さんから「99年輪ピックに行ってきたよ」こんなお便りをいただいで、年輪ピックってなんだろう？の興味をいだいで、訪問にでかけました。

99年輪ピックにウォークラリーで

年輪ピックとは「全国健康福祉祭」の通称で、スポーツと囲碁、将棋、俳句、美術など15種目があり、県や政令都市などの単位で参加し楽しめます。

今年は12回目、福井県で99年10月



ウォーカーの仲間とともに (右から二人目志村さん)

です。勝山市越前大仏の周辺(日本の道百選の平泉寺白山神社石畳の参道・勝山寺)を歩きました。35チームのうち8位だったそうです

ウォークは壮年部スキーから

歩き始めたきっかけは、スキーが大好きで壮年部のスキーに行くのにみんなの足手間といくなっては悪いから少し鍛えておこうとウォークを始めたのです。やり始めるとその方面の知り合いが増え、様々な専門や経験、生き方の仲間と出合いが楽しく、あちこちの歩く会に出かけています。

東海道五十三次の京上りも歩いていきます。春秋二回で、連続2、3日(祝土日)一日に22、30kmを三千人で歩きます。あと三回、来年の三月には京都に到着です。多くの名所・旧跡・名物に触れながら歩く三千人の団体、これを暖かく迎え送って下さる街道の方がたには感謝々々。

日本マーチングリーグ大会にも参加し、北海道から沖縄までの14コースに挑んで、10コースまで踏破しました。

顕微鏡覗き↓

衛生(臨床)検査技師へ

県庁へは昭和34年、

20代後半で衛生検査技師として就職、当時は女性の少ない専門職でした。衛生研究所、厚木病院や厚木保健所などで32年間この道一筋にね。えっ、何でこの道に？ 高校の頃、生物が好きで生物クラブで顕微鏡を覗いて興味を持ったのです。先生も細菌学教室などで覗かせてくれ拍車がかかりました。

私と「こだま会」

仕事が専門職でしたので、あまり他の分野の方とは面識がなかったのですが、こだま会ではいろいろの分野の方の話が聞くことができて嬉しく思います。もともと、これは他の会でも同様ですが。

年金削減など今直接ひびいてくるという気はしないんですけど、長い目でみれば心配ですね。

語らい そして生き様

一人であんばいよく暮らせる間は、一人で楽しむ、程ほどの金と暇とそして健康があればよいと思います。

Let's Walk To 21 Century

平成の東海道53次



同じしがらみなしの友人との語らい、それは様々な集いがあるから、積極的に参加するからお友達が得られるのです。

一人ぼっちにならないように、一人ぼっちにさせないように、共に楽しく心豊かに生きたいものですね。

健康で次から次へと

トレーニング2000キャンペーンの旅も、2千kmの第1ステージを終り、第2ステージを始めよう準備中とのこと。1月末からはスキー仲間と一緒に、スイスのツェルマットに滑りに行くのだそうです。冬もまた楽しいシーズンとのこと。

戦後の困難な時代に自立した女性として生きてきた苦勞など少しも出さず、今が青春とさわやかに歩きつづける志村さんです。(米山・木村)

保健情報

簡単にできる薬膳粥 あなたも つくって みませんか

血圧の高めの方に……緑豆ときくらげ、クコのかゆ

〈材料〉 6～10人分
 米 1カップ
 緑豆 35g
 きくらげ 3g
 クコ 10g
 水 10カップ
 塩 小匙1

〈作り方〉
 1. 緑豆は一晩水につける
 2. 米はとぎ窯に入れて水10カップ加える
 3. きくらげは戻して千切りにする。
 4. ②に③を入れ強火で煮込み沸騰したら火を弱めクコを入れ米が浮いて来たら塩を入れて混ぜる。



老化防止に……小豆入り山芋粥

〈材料〉 6～10人分
 米 1カップ
 水 10カップ
 小豆 40g
 山芋 100g
 クコ 大匙1
 塩 少々

〈作り方〉
 1. 米は一時間前に洗って、ざるにあげておく
 2. 小豆は洗って一時間ほど水につける。
 山芋は皮をこすり洗いし2cm角に切る。
 クコは洗って戻しておく。
 3. 水10カップと米と小豆を入れ、沸騰するまで強火で煮て、山芋を加え、中火以下にしてゆっくり炊く。
 4. おろし際にクコを加え、一煮たちしたら塩少々で味をととのえる。
 (上野多恵子)

このレシピは、99手づくり文化祭で配布されて好評だったものです。

こだま俳壇

田辺貴布枝

石工のかへるの目に点目借時
 老鷲の合の手入るるかなかなかな
 淡々と老いて身軽や花八ツ手
 空蟬のすがりしままに朴落葉
 年の夜の星の一つに語りかく

小川水草

姿見に無職がひとり初冬の湯
 畑大根原子力艦背のび見る
 桐一葉骨董市に毛語録
 かながわ名広め県警名の木枯る
 しがらみの土塊碎き芽麦伸ぶ

船橋まさ子

メロン切る奇数といふは難しき
 中年や隙間恋ふなりサッシ窓
 流行風邪もらって帰る雨の中
 緞帳や古松大樹や十二月
 母子三代手の貌似たり寒の水

投稿のお誘い

俳壇に限らず、生活や風景のエッセイや、健康術の直伝その他、みなさんの声を大いに寄せて下さい。
 次回の48号は6月発行の予定ですが、

4月10日頃までにお寄せ下さい。
 ささやかですが図書券をお送りいたします。

(編集委員会)

今年四月実施の介護保険制度にむけて、各地区の医師会などが「訪問看護ステーション」をつくっていましたが、介護保険制度では介護と医療の関係はどうなっているのだろうか。各自治体の介護担当者やケアマネージャーさんに聞いてもどうもはつきりしない。

介護保険で医療はどうなるの

介護保険制度の概要による「ねらい」では「利用者の選択により、多様な主体から保険医療サービス、福祉サービスを総合的に受けられる仕組みを創設する」としています。そして、次の項では「介護を医療保険から切り離し、社会的入院解消の条件整備を図る」と説明しています。

また、「介護認定」「介護給付」では、在宅サービスでの「訪問看護」と施設サービスでの「療養型病床群等」で看護が受けれると記載されています。介護保険法ではどうなっているの

第七条(定義)八項では、この法律において「訪問看護」とは、居宅要介護者等(主治の医師がその治療の必要の程度につき厚生省令で定める基準に適合していると認められたものに限る。)について、その者の居宅において看護婦その他厚生省令で定める者により行われる療養上の世話

又は必要な診療の補助をいう、と記載されています。

具体的にどの程度医療をみるの

要介護状態区分と介護サービス計画(厚生省試案・通所型の場合)によれば、「要介護1から3」までは訪問看護が週一回、「要介護4から5」では週二回となっています。

(注) 要支援の場合は月に一回
そして、医療サービスと福祉サービスの連携では、これまでは医療保

どうなるの、介護保険と医療
はつきりしない介護と医療の関係

除では「療養型病床群」(老人病院)と老人保健施設が医療保険の適用だったが、一般病院を除けば、特別養護老人ホームから在宅のかかりつけ医まで介護保険の適用になるよう記載されています。

医療サービスを報酬単価でみると

主な介護サービス報酬の仮単価によると、次のようになっています。

- 【訪問看護】
- 身体介護 四、〇二〇円
- 家事援助 二、一二〇円

【訪問看護】

- 医療機関 五、五〇〇円
- 訪問看護ステーション 八、三〇〇円

(注) 三十分以上二時間未満

訪問看護ステーションでの利用料金 (A市)

「訪問看護ステーションご利用の案内」による料金表は次のようになっています。

【基本利用料】

- 老人医療受給者の場合
- 一回につき 二五〇円
- ただし、一日で二回以上受けた場合は

長時間利用料となる。

健康保険の対象者

- 本人 二割負担
- 家族 三割負担
- 国民健康保険の対象者 三割負担

【交通費】

- 5kmまで一kmあたり 一〇〇円
- 5km以上 六〇〇円

【その他の利用料】

- 長時間の訪問 二、六〇〇円
- 時間外の訪問 四、〇〇〇円
- 深夜及び休日・祝祭日の訪問 五、〇〇〇円

(注) 一回一時間程度の料金
訪問看護の対象者と活動内容

【対象となる方】

- (1) 疾病・負傷および障害等によりご家庭で寝たきりの状態にある方。
- (2) かかりつけの医師から紹介された方。

【活動内容】

- (1) 実際の介護・看護とその方法の指導：からだの清潔、排尿や排便のお世話、床ずれの予防や手当て、リハビリなど。
- (2) 療養環境整備などの相談：働きやすい環境、寝たきりにならないような環境、器具などの相談。また介護用品の紹介や工夫。
- (3) 医師の指示による医療処置：胃管や膀胱の管などの交換・管理、傷の処置、注射など医師の指示があった内容。
- (4) 福祉制度の利用のお手伝い：入浴サービス、デイサービス、ショートステイ等の申請や日常生活用具の申請などの相談。

厚生省のねらいは

厚生省は、年金・医療、介護の国からの財政支出割合を、現行年金五割、医療四割、福祉一割を年金五割、次の頁の下段へ続く

自分らしい暮らしを楽しんで

— 老人介護に思う —

「お天気がいいから、車椅子で外へ、散歩に行きましょう」。もと貿易商社の重役、長身でスポーツマン、82歳、脳卒中で倒れ後遺症があり、言語障害と片まひで車椅子の生活、妻と二人ぐらし。この日ボランティ

アで介護する。近くを本人の指示でゆつくりとまわり公園に入る。プランコのそばで「家に帰りたい」と意思表示はじめた。まだ外へ出たばかり、もったいないと思いつつながらUターンして家に帰る。気がつくとは大便の臭い、急いで便器にすわらせる。大量の排便が紙オムツからはみ出し下着をよごしている。よくふき取り始末してヤレヤレ。ストローでヤクルトを飲ませ、落着く。

人間の尊厳と両親

私の家のすぐ裏に一人で暮らす父は、明治33年1月生まれ、満百歳である。週に一回入浴のデイサービスに行っている。先日、帰ってくるなり「五万円出してくれ」と言った。理由を聞くと、大便を失禁して迷惑

をかけた、「一生の不覚だ」謝礼をしたいと言う。「百歳になればあたりまえ、恥ずかしいことではない」と何回も話し、納得させ、これを機会にパンツ式の紙オムツをはかせることにした。

二年前、96歳で死亡した私の母は、歩けなくなっても、トイレには両手ではって行つた。死の直前、私をトイレに呼び「三郎、しりを拭いてくれよ、どうしても自分でできないから」と言った。排泄はだれでも一番ふれられたくないところ。しかし、自立した生活には欠かせない。私はいまでも母のしりを拭いたことを鮮烈におぼえている。心からよかったと思う。

生きる喜びとは

百歳になる父を特別養護老人ホームへショートステイさせたことがある。痴呆症老人五人の大部屋で、そのフロアは施設され、三度の食事とオヤツ、時間がくるとオムツの交換。これではまだ頭がしっかりしている

父のプライドは傷つき、「生きる喜び」など感じられない。一週間で連れ戻した。「あそこは精神病院だ。行きたくない、家が一番いい」と父は言う。住みなれた自分の家で、家族にかこまれ、自由に、自分らしい暮らしをさせてやりたいと思う。わがままで困るときがあるけれど。

人間も、死にゆく「生物」である以上、加齢による老化「機能の低下は避けられないが、「寝たきり」にはならないよう気をつけたい。寝たきりになると関節が固まり、筋肉も弱くなり、肺や心臓・胃腸の機能が劣え、生きる意欲も低下して「痴呆」に進んでしまう。

ヘルパーの思い

趣味やスポーツなど目的をもって積極的に外へ出ること。孤立して閉じこもらずに、人の輪のなかでお互いにはげまし合い、共通の話題・遊びを楽しみ、生きる喜びのある生活で、ギリギリまでがんばって動くこと。それでも寝たきりになったら、できるだけ六ヶ月以内に礼儀正しく死んでいきたいと思っている。

「あした清拭をやりましょう」と言われて「まだ葬式は早いよ」とまじめに答え、「糖衣錠を飲んでください」で10ケもいっぺんに飲むお年寄り。いま介護保険で自分の「要介

医療三割、福祉二割にしさらに、家族介護四割、長期入院四割、福祉施設二割の配分を決めそれに合わせて医療を削り、その介護保険に回すとのことであり、最終的には介護保険の適用にならない医療費の自己負担が出てくるのでないでしょうか。最終的には厚生省令で決めるようです。

(川井弘次)

「護度」がどのくらいに認定されるか、通知を待ち「受験生」のようにそわそわしている。

戦中・戦後の混乱期を生き抜いてきた高齢者が、元気に生きられるよう、できるだけのお手伝いをしていきたいと思う。自分の腰痛と相談しながら。

(鈴木三郎 ヘルパー2級、69歳)

☆「自分はこう思う」

「いや、そうじゃない」など読後感を

寄せて下さい。

お待ちします。

(編集委員会)



年金情報

危険な

年金積立金運用法案

年金改悪とセツトで

年金の改悪法案は昨年の臨時国会において自公三党の賛成により衆議院は通過したものの参議院では継続審議となりました。1月末、招集される通常国会の冒頭に審議されます。今回の年金改悪法案とセツトで「年金資金運用基金法案」が提出されています。この法案は厚生省が年金資金運用基金を新設し年金積立金を自主運用しようと言うものです。年金積立金は大蔵省の財政投融资の財源として郵便預金などとともに運用されてきました。従来の公共投資中心の財政投融资にも問題がありますが、年金積立金を株式投資など金融市場に投入する今回の改悪案はたいへん危険なものです。今までも厚生省所管の特殊法人年金福祉事業団が年金積立金25兆円の運用に失敗し、1兆8千億円もの赤字を出していることでもわかるように、リスクをとまなう株式投資などの運用は年金資産の運用に相応しくありません。莫大な年金資金の投入で株式市場や金融市場は潤い、また、運用を委託される銀行、生保、投資顧問などは

多額の手数料が稼げると大歓迎でしょうがとんでもない話です。丹羽厚生大臣は「安全な運用方針をきめたい」と言うだけで新設の基金の運用方針は法案成立後にきめると言っており、全くの白紙委任することになります。

厚生、国民年金の積立金は14兆円(99年度)にたつし国民の貴重な財産です。年金資産の運用は政府、厚生省が勝手に行うのでなく、加入者や年金受給者の代表などをふくめた民主的な運用機関をもうけ、高齢化社会に相応しい福祉施設や住宅など社会資本の充実や国民の利益を優先に活用し運用することです。

(山口順久)

高齢者運動

日本高齢者大会

第29回関東甲信高齢者問題

神奈川県集會 開かる

関東甲信各県持ち廻りの標記集會が、一九九九年一〇月四～五日の二日間にあつて横浜市のインターナショナルホテルで開催されました。参加者四〇〇名、こだま会からも川井さんが運営に参加したほか四名出席しました。

第一日は全体会、全国の情報や各

地の活動が報告されました。日本高齢者運動連絡会事務局長篠崎次男氏の記念講演「社会保障の構造改革と介護保険」は、社会保障の基礎構造が介護保険を含むさまざまな制度に連動していること、構造改革の運動の必要性が示され、とても興味深いものでした。

二日目は、介護保険や社会保障、平和と民主主義などの四分科会に分かれて問題を深めました。

戦中、戦後を生き抜いた私たちが戦争と平和について大いに発言し、平和憲法を守り育てる「語り部」となつて21世紀を展望した活動を展開することを約束しました。



神奈川自治労連退職者会

第8回定期総会 成功裡に終る

一九九九年一〇月二七日午後、横浜市従会館で総会は開かれました。

こだま会、市従退職者会、鎌倉市役所退職者の仲間46名が参加し、各単会の活動を交流しつつ、自らの生活実感、悲惨な戦争体験を生かし平

和を守り生存権擁護のための活動を一層強めることを決意しました。手作り文化祭・新春の集いを成功させること、新たに団体加盟した「金子先生を守る会」の不当解雇を撤回させる行動などに取りくんで行きます。

なお、役員改選で「こだま会」から次の方がたが選出されました。

加藤利秋(会長)

川井弘次(事務局次長)

斉藤一悦(幹事)

秋中一允(〇〇)

木村武子(会計監査)

編集後記

新しい仲間が増えればいいな、と期待しながら編集しました。

毎年のこと、風邪との闘いでしたが何とか……少々出来が悪くてゴメンナサイ。

健康第一、第一と念仏のようにつける毎日でした。

編集・発行
県職労退職者こだま会
発行人 鈴木志げ子
発行日 2000.2.1

No.47

〒231-0005
横浜市中央区本町4-37
TEL 045-212-3179(直通)
045-201-1111(内線7953)